



#ものづくり #精密機械金属部品 #切削加工 #共同研究

医療分析装置やバルブ制御装置に使われる精密機械金属部品の切削加工業として1953年の創業以来、高品質、低コスト、短納期をひたむきに追求して参りました。「誠実・正確・精度・スピード」を究め、その先にあるお客様の「信頼」を追求する「新5S(総合力)」を信念に掲げ、キラリと光るものづくり企業をめざしています。この取組みの結果、医療機器や自動車、半導体製造装置、食品製造装置など幅広い業界・分野の大手メーカーから信頼を得て、当社の加工部品が様々な機器に組み込まれ、皆さんの生活を支えています。

製造業として、高品質、低コスト、短納期の原則を守ることはもちろん、小林精機にしかできない技能を持ち、高レベルの開発力を育むことが必要不可欠です。30年以上に渡る大学や工業技術センターとの共同研究を通して、切削加工技術の高度化や切削工具摩耗の研究を始め、ロボットによる自動生産にも取り組んでいます。

そして受注情報や原材料の情報、製造担当者の経歴、生産設備のメンテナンス記録など品質保証のために必要な情報が急増しています。製造業といえど、ものづくりだけ一生懸命では済まされない時代です。お客様の信用を得るためには、膨大に膨らむこれらの情報を効率よく処理するIoTやAIの技術は製造業にとっても避けて通れないと判断し、メカトロニクス技術やIT技術を含めた総合力でものづくりに取り組んでいます。

